

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
子ども英語教材ワークショップ Workshop for English Educational Materials for Children		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(選択必修(子ども英語コミュニケーションユニット))	子ども英語ユニットの科目を履修したことがない学生は事前に要相談
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
幼稚園・保育英語、児童英語、子どものうたとゲームⅠ、子どものうたとゲームⅡ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
子ども英語教育実習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟3階	火曜・木曜9:00~18:00(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
児童英語の授業で子どもが学習意欲を高め、習得効果を高める教材作りを学ぶ。				
授業の目標				
①どんな教材があるのかを知り、その学習効果を理解することができるようにする。 ②学習理解を助ける教材を作ることができるようにする。 ③作成した教材を有効に使った授業運営を考えられるようにする。				
授業の方法				
手作り教材を作成し、実際にそれを使用したレッスンプランを立て、実習を行う。				
学習の成果(学習成果)				
①子どもが楽しく英語の授業を受けられる様々な教材について詳しくなることができる。 ②教材を自分で手作りすることにより、教材の目的と意義を体得することができる。 実習の場で自分が作った教材を使用することで、子どもの学習成果を目の当たりにし、指導者としての素質を磨くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(1)			
第3回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(2)			
第4回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(3)			
第5回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(4)			
第6回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(5)			

第7回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(6)
第8回目	学習テーマに沿った教材研究と教材作成(7)
第9回目	季節行事を演出するための教材研究と教材作成(1)
第10回目	季節行事を演出するための教材研究と教材作成(2)
第11回目	季節行事を演出するための教材研究と教材作成(3)
第12回目	イベント演出のための教材研究と教材作成(1)
第13回目	イベント演出のための教材研究と教材作成(2)
第14回目	イベント演出のための教材研究と教材作成(3)
第15回目	イベント演出のための教材研究と教材作成(4)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業の雰囲気作りに協力し、積極的に学び、学習成果を高めようとする態度を評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	60%	教材研究の結果を発表したり、授業で作成した教材作品を使って個人やグループで模擬授業を行う。子どもが理解しやすい指導を行っているかどうかを評価する。
その他	20%	作成した教材を提出してもらい、学習目標にあった作品として仕上がっているかどうかを評価する。

教科書と参考図書

授業内で適宜指示、配布する。

履修上の留意点・ルール

普段から色々な物に関心を向けることによって、配色やデザインに対するセンスも磨きましょう。